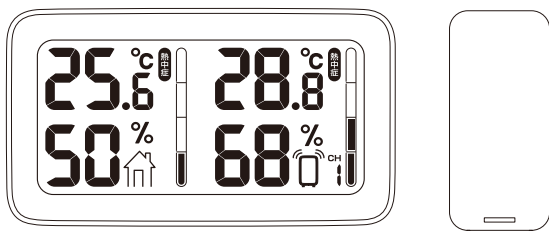


コードレス温湿度計



※ 本書に記載されているイラストはイメージです。

取扱説明書

保証書付



このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書を最後まで必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、いつでも見られるように大切に保管してください。

目次

安全上のご注意	1~2
梱包内容	3
各部の名称	4~6
本体と子機を同期する	7~11
電池について	11
電池交換	12~13
子機の増設方法	14~15
設置する	16~18
ご使用方法	19~20
MAX/MIN表示	21
熱中症の警告表示について	22~23
日常生活での熱中症予防について	24~26
インフルエンザの警告表示について	27
お手入れ方法	28
子機と同期ができないときは	29~30
故障かな？と思ったら	31~32
アフターサービスについて	33~34
仕様	35~37
保証書	裏表紙



安全上のご注意

- 必ずご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- 以下の警告マークを表示している事項は、いずれも安全に関する重要な内容です。必ずお守りください。

警告マークの種類	警告マークの内容
 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容

図記号の例

 禁止 してはいけない内容	 指示 実行しなければならない内容
------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------

 警 告	
 禁止	<ul style="list-style-type: none">●絶対に分解・修理・改造をしない。 発火・感電・けがの原因になります。●ペースメーカーなど植込型医療器の装着部位の近くで使用しない。 ペースメーカーなどに影響を及ぼすおそれがあります。●乳幼児や自分で操作できない方だけで使用したり、手の届くところに置かない。 誤飲・けがの可能性があり。万一電池や部品を飲み込んだ場合は直ちに医師に相談する。●通気口の穴にピンや異物などを入れない。 内部の電気回路がショートして発火・感電・けがの原因になります。●航空機内や病院など、無線機器の使用が禁止されている区域内では絶対に使用しない。 商用として航空機内や病院で使用するための機能を備えていないため、機器類の誤作動による重大な事故のおそれがあります。

安全上のご注意

⚠ 警 告



指示

- 異常・故障がある場合には直ちに使用を中止し、点検・修理を依頼する。
発火・感電・けがの可能性があります。

⚠ 注 意



禁止

- 落としたり、ぶつかけたりなど強い衝撃を与えない。
- 本体は防水・防滴・防塵構造ではないため、湿気が多い場所や水のかかる場所で保管・使用しない。故障の原因になります。
- 直射日光の当たる場所や高温になる場所に放置しない。
- 直接火に当てたり、火の近くに置いたりしない。
- 溶剤や薬液などをつけたり、かけたりしない。本体が変形し、故障の原因になります。
- 携帯電話・無線 LAN ルーターなど、電波を発する機器の近くで使用しない。
誤作動を起こして測定できないおそれがあります。



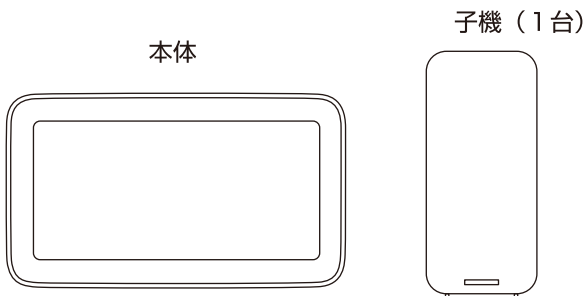
指示

- 壁に掛けたり、ひもなどで吊り下げて使用する場合は、落下などしないことを確認する。
- 立てかけて使用する場合は、スタンドを必ず止まるまで開き、水平で安定した場所に設置する。

- 本製品は一般的な日常生活での温度・湿度の目安としてご使用ください。
- 本製品を商取引や公に温度・湿度を証明する場合には使用しないでください。温度・湿度による誤差や熱中症・インフルエンザ指標などによる損害に対し、弊社は一切の責任を負えないことをご了承ください。

梱包内容

以下のものがそろっているかご確認ください。



取扱説明書（保証書付）
※本書



付属品

動作確認用電池
（単3形乾電池 × 4 個）



別売品（子機）

別売品の子機を増設することで、設置場所を増やすことができます。

●子機 品番：0-429

※1 台の本体から温度、湿度を確認できる子機は 3 台までです。

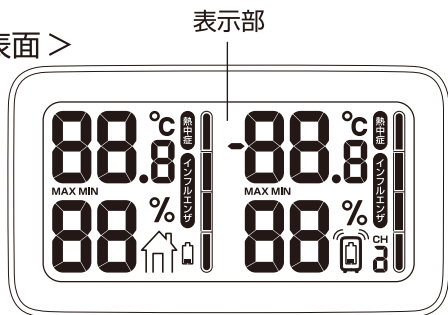
各部の名称

※表示部に貼られている保護シートをはがしてからご使用ください。

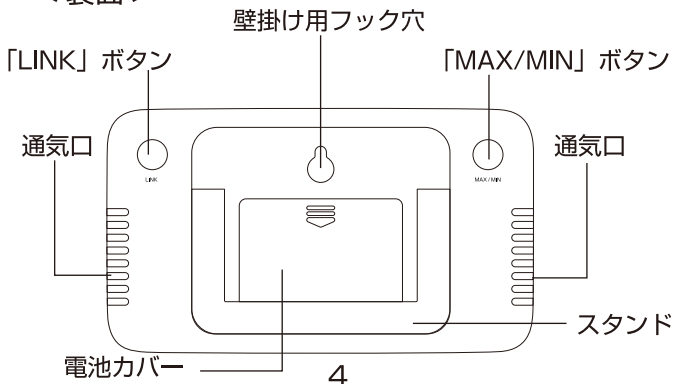
※本書に記載されているイラストはイメージです。

本体

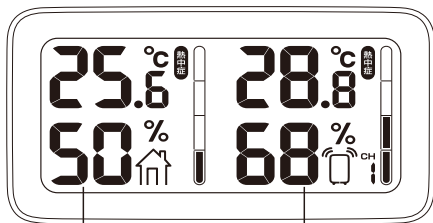
< 表面 >



< 裏面 >

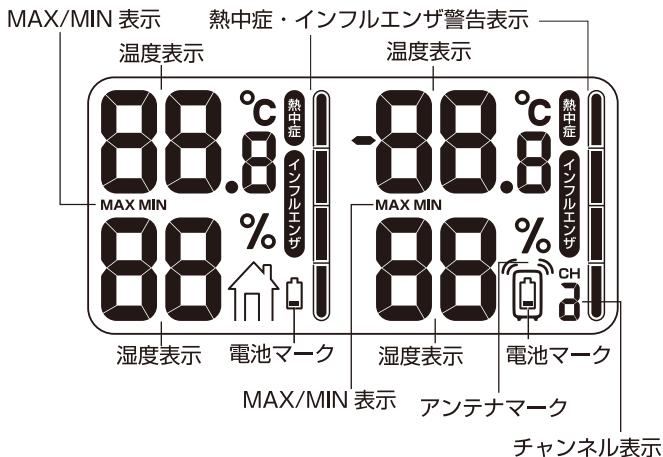


各部の名称



本体の測定値

子機の測定値

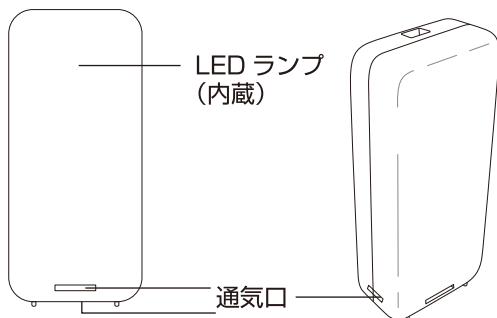


各部の名称

子機

<表面>

<側面>



<裏面>

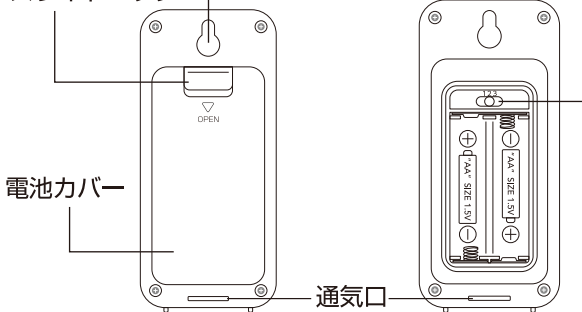
壁掛け用フック穴
兼ひも通し穴

<電池カバー内>
チャンネルスイッチ

スライドロック

電池カバー

通気口



本体と子機を同期する

必ず本体→子機の順で電池を入れてください。
逆の順で電池を入れると同期できません。

本体に電池を入れる

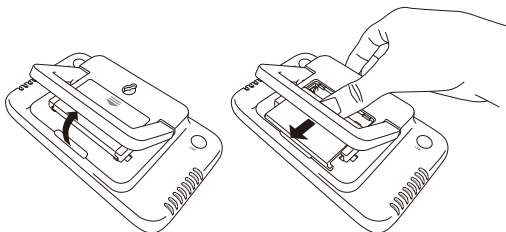
1. 電池を準備する。

※使用電池：単 3 形アルカリ乾電池 ×2 個

※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短か
かったり、電池残量が不足している場合があります。

2. 電池カバーを取りはずす。

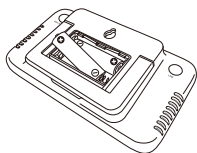
本体裏面のスタンドを開き、電池カバーを矢印の方向に
スライドさせて取りはずします。



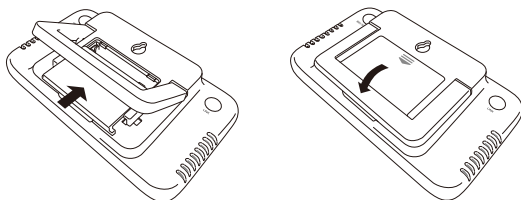
本体と子機を同期する

3. 電池ボックスに電池をセットする。

※電池の極性(+・-)を間違わないように入れてください。

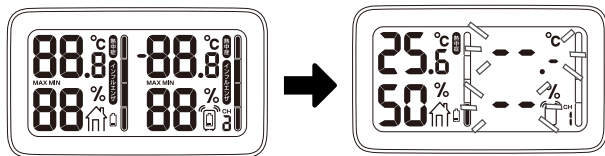


4. 電池カバーをスライドさせてセットし、スタンドを閉じる。



本体に電池を入れると、表示部が全点灯で表示された後、本体の温度と気温が表示されます。


図のように子機の測定値表示部が点滅し、子機から送られてくる電波の待機状態になります。



本体と子機を同期する

子機に電池を入れる

本体に電池を入れた後、5分以内に子機に電池を入れてください。

子機に電池を入れると本体へ電波の送信を始めます。本体表示部にアンテナマーク「」と子機の測定値が表示されるまでは、本体のボタン操作を行わないでください。

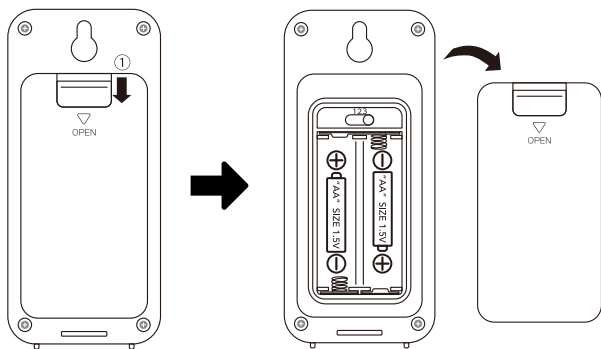
1. 電池を準備する

※使用電池：単3形アルカリ乾電池×2個

※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短かったり、電池残量が不足している場合があります。

2. 子機の電池カバーを取りはずす。

電池カバーのスライドロックを「▽」側にスライドさせてから、電池カバーを取りはずします。



本体と子機を同期する

3. 子機のチャンネル設定をして、電池ボックスに電池をセットする。

チャンネルスイッチを「1」の位置に合わせてください。

※電池の極性(+・-)を間違わないように入れてください。

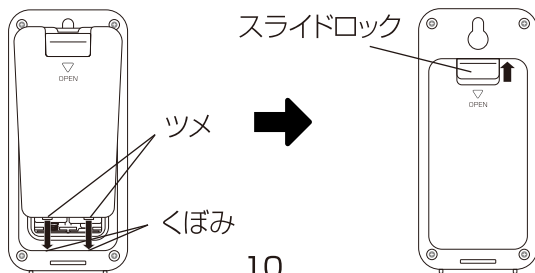


4. 電池カバーを閉じる。


電池カバーのツメを子機のくぼみに合わせてかぶせ、スライドロックを上方向にスライドさせて、電池カバーをロックします。

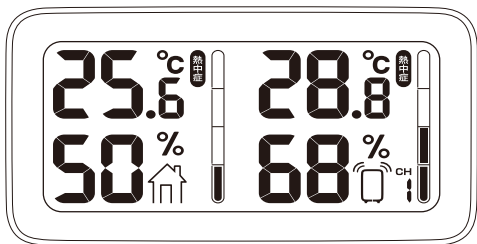
※しっかりとスライドさせてください。

ロックが不十分だと水が浸入するおそれがあります。



本体と子機を同期する

子機に電池を入れると、電波の送信が開始され、本体と子機の同期が行われます。約 10 秒で同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク「」と子機の測定値が表示されます。最大 5 分間、本体表示部の CH1 → CH2 → CH3 が切り替わった後、子機が 1 台のみ接続されている場合は、CH1 の表示に固定されます。



電池について


- ショートさせない。分解・加熱をしない。火中に投げない。
- 電池の液が皮膚や衣服に付着したらきれいな水で洗い流し、目に入ったときはすぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の治療を受ける。
- 電池は乳幼児の手の届く場所に置かない。万一飲み込んだ場合は直ちに医師の治療を受ける。
- 電池の極性(+・-)を正しく入れる。
- 電池を使い切ったときや長期間使用しないときは、電池を取り出す。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わない。
- 種類やメーカーが異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池を廃棄するときは、自治体の指示に従う。
- 使用・保管時に電池の発熱や変形など今までと異なることに気づいたときは使用を中止する。

電池交換


※使用電池：単3形アルカリ乾電池 ×2個

下記の場合は本体の電池を 2 個とも新しいアルカリ乾電池に交換してください。

※充電電池やマンガン電池では正常に作動しません。

- 本体の測定値表示部に電池マーク「」が表示されたとき
- 本体表示部に何も表示されなくなったとき

1. 本体の電池を 2 個とも新しい電池に交換する。

最大 3 分程度で再同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク「」と子機の測定値が表示されます。


※約 5 分経過しても本体表示部に子機の測定値が表示されない場合は、30ページの手順に従って子機の電池を再度セットしてください。

電池交換

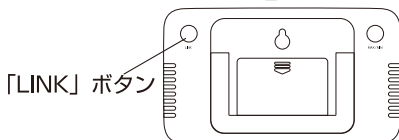
※使用電池：単3形アルカリ乾電池 ×2個

下記の場合は子機の電池を2個とも新しいアルカリ乾電池に交換してください。

※充電電池やマンガン電池では正常に作動しません。


- 本体の子機の測定値表示部に電池マーク「」が表示されたとき
- 本体の子機の測定値表示部に「Er Er」が表示されたとき

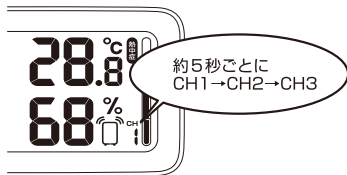
1. 本体裏面の「LINK」ボタンを3秒以上押す。



2. 5分以内に子機の電池を2個とも新しい電池に交換する。

本体表示部のチャンネル表示が点滅します。

電波の送信が開始されます。約10秒で再同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク「」と子機の測定値が表示されます。



※新しい電池に交換しても同期が正しく行われな
ときは「子機と同期ができないときは」(29 ページ)
を参照してください。 13

子機の増設方法

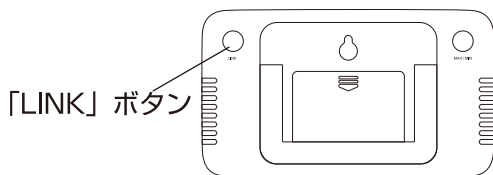
別売品の子機を増設することができます。

子機を増設することで、測定場所を増やすことができます。例えば、本体をリビングルームに、子機をベランダ・寝室・子供部屋などに置くことで、リビングルームにいながら最大4か所の温湿度を確認できます。

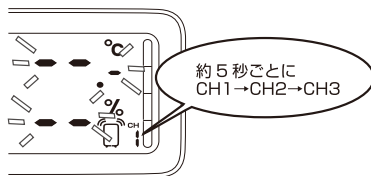
※子機を増設する場合は、別売品の子機（品番：0-429）をお求めください。

※1台の本体から温度、湿度を確認できる子機は3台までです。

1. 接続中の子機の電池を抜く。
2. 本体裏面の「LINK」ボタンを3秒以上押す。



本体の測定値表示部が「--. °C、--%」で点滅し、子機から送られる電波の待機状態になります。




子機の増設方法

3. 本体の「LINK」ボタンを押した後5分以内に接続する子機のチャンネル設定をしてから電池を入れて、電池カバーを閉じる。

「子機に電池を入れる」(9～10ページ)の手順「1」からと同様に電池を入れてください。

※増設する子機は、既にお持ちの子機とは異なるチャンネルにスイッチを設定してください。



電波の送信が開始され、本体と子機の同期が行われます。約10秒で増設した子機の同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク「」が表示されます。約1分後に子機2台分の測定値が約5秒ごとに交互に表示されます。



一度同期すると、本体はチャンネルごとに設定した子機との接続を記憶し、そのチャンネルでは他の子機とは接続しません。チャンネルを変更したり、別の子機と同期させる場合は、14～15ページ「子機の増設方法」を最初からやり直してください。

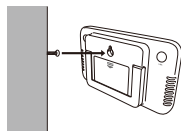
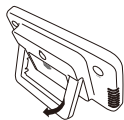
※3台目の子機の同期は、既にお持ちの子機とは異なるチャンネルにスイッチを設定して、2台目と同じ手順で行ってください。

設置する

- 初めてご使用になるときや場所を移動した場合は、数値が安定するまで時間がかかるため、同じ場所に 10 ～ 30 分ほど置いてから確認してください。
(急激な変化の場合は更に時間がかかることがあります)
- 本体および子機の設置する高さや場所により、温度・湿度は変化します。
- 本体の設置場所の温度が -10.0°C 以下または、 50.0°C 以上では表示が見えにくくなる場合があります。
- 本体および子機は、電磁波が発生する機器(IH 調理器・電子レンジ・携帯電話など)の近くに設置しないでください。

本体を設置する



- ▲ 直射日光のあたる場所やエアコン・暖房器具・加湿器などの近くを避け、風通しの良い場所でご使用ください。
- ▲ 本体は屋内での使用を想定しており、防塵・防水・防滴構造ではありません。雨や水の当たる場所での使用は避けてください。故障の原因になります。
- ▲ 通気口をふさがないように設置してください。正確な温度・湿度が測定できません。
- ▲ 立てかけて使用する場合は、スタンドを必ず止まるまで開き、水平で安定した場所に設置してください。
- ▲ 壁などに掛けて使用する場合は、落下などしないことを確認してください。





設置する

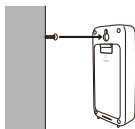
子機を設置する

子機は本体から離れた場所の温度、湿度を測定し、約110～160秒間隔で測定値を本体に送信します。

- データ送信時は子機表面(内部)のLEDランプが点滅します。
- データの送信間隔はチャンネルごとに異なります。
- 子機から本体に測定値を送信できる距離は、見通しの良い場所で約30mです。子機と本体の間に何らかの障害物がある場合は、電波の伝達距離は短くなります。
- 子機と本体の間に厚い壁など電波を遮るものがあると、測定値が送信できない場合があります。
- 子機は防水構造(IPX4)ですが、温湿度測定のための通気口がありますのでご注意ください。
- 以下のような場所には設置しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・エアコン・エアコン室外機・暖房器具・加湿器・換気扇などの送風の影響を受ける場所
 - ・雨や雪が直接かかったり跳ね返りが当たる場所
 - ・結露による水滴がつく場所
- 設置後は本体表示部のアンテナマーク「 

 壁に掛けたり、ひもなどで吊り下げて使用する場合は、落下などしないことを確認してください。

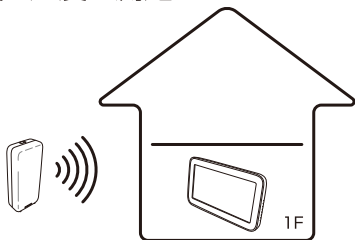
 通気口をふさがないように設置してください。正確な温度・湿度が測定できません。



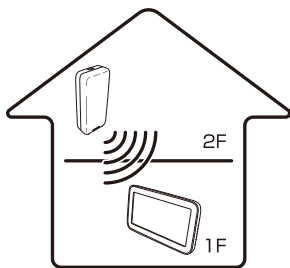
設置する

<設置例>

子機を屋外に設置して、リビングルームと屋外の温度と湿度を測定



子機を2階の部屋（子供部屋、寝室など）に設置して、リビングルームと離れた部屋の温度と湿度を測定

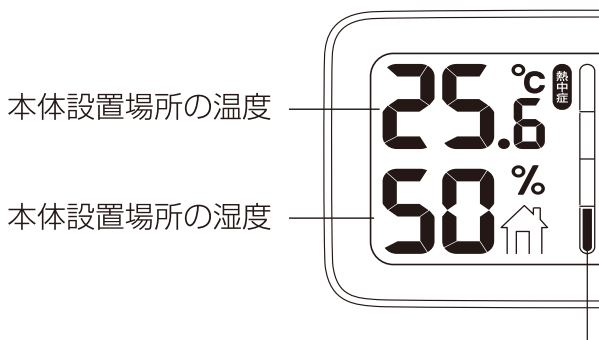


冬はトイレや洗面所、脱衣所など温度が著しく変化する場所に子機を設置するのも効果的です。

ご使用方法

●本体の測定値

本体表示部の左側に、本体設置場所の温度・湿度と熱中症・インフルエンザ警告が表示されます。



熱中症・インフルエンザ警告表示

※WBGT33℃以上になると

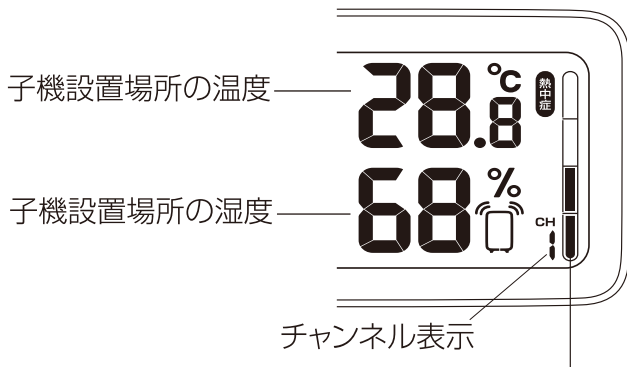
「熱中症」の文字表示が点滅します。



ご使用方法

●子機の測定値

本体表示部の右側に、子機設置場所の温度・湿度と熱中症・インフルエンザ警告が表示されます。



熱中症・インフルエンザ警告表示
※WBGT33°C以上になると
「熱中症」の文字表示が点滅します。

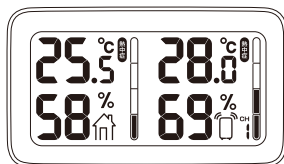
※子機を増設した場合は、子機 2 台(または 3 台)の測定値が約 5 秒ごとに交互に表示されます。



MAX / MIN 表示

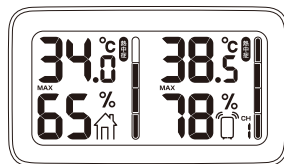
本製品は測定された温度・湿度の
MAX/MIN(最高・最低)の数値を
自動的に記録します。

【現在】



- 本体裏面の「MAX/MIN」ボタンを押す。↓ 【最高】

本体と子機の温度・湿度の
最高数値と「MAX」が表示
されます。

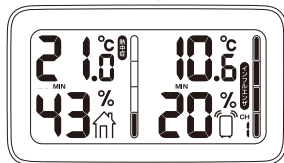


- もう一度「MAX/MIN」ボタン
を押す。

本体と子機の温度・湿度の
最低数値と「MIN」が表示
されます。

「MIN」が表示されている
状態で「MAX/MIN」ボタン
を押すと現在の温度・湿度
の数値に戻ります。

↓ 【最低】



※記録された数値は「MAX/MIN」ボタンを約 3 秒以上
長押しすると、リセットされます。

熱中症の警告表示について

本製品は熱中症の危険度を「熱中症」の文字とバー表示でお知らせします。(下記参照)

※熱中症とインフルエンザ、どちらの表示も出ない範囲があります。

※熱中症警告表示とインフルエンザ警告表示は自動で切り替わります。

※WBGT33℃以上になると「熱中症」の文字が点滅します。

	注意	警戒	嚴重警戒	危険
熱中症 (WBGT)	警告表示なし ※WBGT 21℃未満			※WBGT 33℃以上で 「熱中症」 が点滅

■ **熱中症とは**(出典 ひと涼みしよう 熱中症予防 声かけプロジェクト)

熱中症は、気温が高いことなどで、身体の中の水分や塩分(ナトリウムなど)のバランスが崩れたり、体の調整機能が正常に働かなくなることによって引き起こされます。人の身体は、常に熱を作り出す一方、汗をかくたり、皮膚から熱を逃がすことで、体温の上昇を抑えています。このような体温の調節機能がうまく働かず、体内に熱がこもり、体温が異常に上昇することで熱中症は起こります。また、真夏日や熱帯夜が多い年は、熱中症で亡くなる人も増えます。一般的には、最高気温が25度を超えると患者が発生し、30度を超えると熱中症で死亡する人の数が増えはじめると言われています。

日常生活における熱中症予防指針

(出典 日本気象学会「日常生活時における熱中症予防指針」Ver.4)

温度基準 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31℃以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が高い。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28℃以上31℃未満)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25℃以上28℃未満)	中等度以上の生活活動で おこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25℃未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般的に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

熱中症の警告表示について

熱中症の危険と対策

- ・ 注 意：熱中症の危険は少ないですが、兆候に注意しましょう。
スポーツなどの活動をしている方は、適度な水分補給を心がけましょう。
- ・ 警 戒：熱中症の危険が増えています。スポーツなどの活動をしている方はこまめに休息をとり積極的に水分補給をしましょう。激しい運動は30分おきくらいに休息をとりましょう。
- ・ 嚴重警戒：熱中症の危険が高まっています。
スポーツなどの活動をしている方は激しい運動を避けてください。体力の低い方、暑さに慣れていない方は運動を中止してください。
積極的に休息と水分・塩分補給を行ってください。
- ・ 危 険：熱中症の危険があります。
特別の場合以外はすべての運動を中止してください。体温の上昇に注意し、十分な休息と水分・塩分補給を行ってください。

※熱中症の警告表示は「日射のない室内専用」です。
室外に設置した場合は、あくまで参考値としてください。

日常生活での熱中症予防について

熱中症予防には水分・塩分補給をすることが大切です。

こまめに水分・塩分補給ができるように、スポーツ飲料などの飲み物を持ち歩きましょう。

特に幼児・学童や高齢者は、のどが渇く前に飲む、空調が効いた場所で休憩をするなどして熱中症対策をしてください。

・水分・塩分補給の目安

(出典 日本生気象学会「日常生活時における熱中症予防指針」 Ver.4)

- (1)日常生活における水分補給：通常の生活では食事等に含まれる水分を除いた飲料として摂取すべき量は1日あたり 1.2ℓを目安とする。
- (2)運動時や作業時の補給：水分の補給量は体重減少量の7～8割程度が目安となる。体重の2%以上の脱水を起こさないよう注意する。
大量の発汗がある場合は、スポーツ飲料などの塩分濃度0.2%程度の水分を摂取する。

作業前：コップ1～2杯程度の水分・塩分を補給する
(コップ1杯200ml。)
作業中：コップ半分～1杯程度の水分・塩分を20～30分ごとに補給する。
作業後：30分以内に水分・塩分を補給する。
- (3)飲酒時の補給：アルコール飲料は利尿を促進するので、飲酒後は水分・塩分を十分に補給する。
- (4)空調装置使用時の補給：空気が乾燥するので、こまめに水分・塩分を補給する。

日常生活での熱中症予防について

・特に注意を要する事項

(出典 日本生気象学会「日常生活時における熱中症予防指針 Ver4」)

以下の項目に該当する場合は、特に注意が必要であり、温度基準域を下げた「注意事項」を適用する。本人のみならず、周囲の人々の注意も必要である。

- a. 幼児・学童は体温調節機能が未発達であり、保護者の対応が不適切になると発症しやすい。
- b. 65歳以上の高齢者、特に75歳以上の後期高齢者は発汗能や口渇感等、体温調節機能が低下する。このために熱中症を発症しやすい。
- c. 肥満者は、より体温が上昇しやすい傾向にあるため、熱中症を発症しやすい。
- d. 仕事や運動(スポーツ)に無理をしすぎる人、頑張りすぎる人は熱中症を発症しやすい。
- e. 基礎疾患(高血圧、心疾患、慢性肺疾患、肝臓病、腎臓病、内分泌疾患など)のある人、寝たきりの人は発症しやすい。熱中症の発症を助長する以下のような薬を服用している人も発症しやすい。抗コリン作用のある薬(鎮痙薬*、頻尿治療薬*、パーキンソン病治療薬*、抗ヒスタミン薬、抗てんかん薬、睡眠薬・抗不安薬、自律神経調節薬、抗うつ薬、β遮断薬、ある種の抗不整脈薬、麻薬)は発汗抑制を来たす可能性がある。利尿剤は脱水を来たしやすい。興奮剤・覚せい剤は代謝を亢進させる。多くの抗精神病薬*は体温調節中枢を抑制する可能性がある。
*医薬品添付文書に、「発汗(あるいは体温調節中枢)が抑制されるため、高温環境では体温が上昇するおそれがある」との記載のある薬品。
- f. 発熱、下痢、二日酔い、睡眠不足等、体調不良の場合は発症しやすい。
- g. 農作業、安全対策作業等で厚着、安全服等で全身を覆う場合は発症しやすい。
- h. 急激に高温となった場合。例えば暑さに慣れていない6月以前、また、日常生活で高温暴露の経験が少ない場合、旅行や移動(涼しい場所から高温の場所へ)の場合および気象変化などで急激に高温となった場合なども発症しやすい。

WBGTとは?(Wet Bulb Globe Temperature)

酷暑の環境下での行動に伴うリスクの度合を判断するのに用いられる指標です。環境省ではこれを暑さ指数と称しています。人体の熱収支に影響の大きい湿度、放射、気温の3つを考慮しており、湿球温度、黒球温度、乾球温度の値を使って計算します。スポーツや高温の職場などでの熱中症等を予防するために国際的に利用されており、ISO07243、JIS Z 8504などとして規格化されています。

日常生活での熱中症予防について

室内用の WBGT 簡易推定図 Ver.4

室内用 Ver.4 日本生気象学会		相対湿度 [%]																	
		20	25	30	35	40	45	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100	
気温 [°C]	40	28	29	30	31	32	33	34	34	35	36	36	37	38	38	39	39	40	
	39	27	28	29	30	31	32	33	33	34	35	35	36	37	37	38	38	39	
	38	27	28	29	29	30	31	32	33	33	34	35	35	36	36	37	37	38	
	37	26	27	28	29	29	30	31	32	32	33	34	34	35	35	36	36	37	
	36	25	26	27	28	29	29	30	31	31	32	33	33	34	34	35	35	36	
	35	24	25	26	27	28	28	29	30	30	31	32	32	33	33	34	34	35	
	34	24	25	25	26	27	28	28	29	30	30	31	31	32	32	33	34	34	
	33	23	24	25	25	26	27	27	28	29	29	30	30	31	31	32	33	33	
	32	22	23	24	24	25	26	26	27	28	28	29	29	30	31	31	32	32	
	31	21	22	23	24	24	25	26	26	27	27	28	29	29	30	30	31	31	
	30	21	21	22	23	23	24	25	25	26	26	27	28	28	29	29	30	30	
	29	20	21	21	22	23	23	24	24	25	26	26	27	27	28	28	29	29	
	28	19	20	21	21	22	22	23	24	24	25	25	26	26	27	27	28	28	
	27	18	19	20	20	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26	27	27	
	26	18	18	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25	26	26	
	25	17	17	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	25	25	
	24	16	17	17	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23	24	24	
	23	15	16	16	17	18	18	19	19	20	20	21	21	22	22	23	23		
22	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	20	20	20	21	21	22	22		
21	14	14	15	15	16	16	17	17	18	18	19	19	19	20	20	21	21		

【注意】 この図は「日射のない室内専用」です。屋外では使用できません。また、室内でも日射や発熱体のある場合は使用できません。そのような環境では、黒球付きの WBGT 測定器等を用いて評価して下さい。

WBGT による温度基準域

危険	嚴重警戒	警戒	注意
31°C以上	28°C以上31°C未満	25°C以上28°C未満	25°C未満

日本生気象学会：日常生活における熱中症予防指針 Ver.4, 2022

インフルエンザの警告表示について




本製品はインフルエンザの危険性を「インフルエンザ」の文字とバー表示でお知らせします。(下表参照)

※ 熱中症とインフルエンザ、どちらの表示も出ない範囲があります。

※ 熱中症警告表示とインフルエンザ警告表示は自動で切り替わります。

■ インフルエンザの警告表示について

湿度とインフルエンザウイルスの関係

警告表示	※1 絶対湿度	インフルエンザ ウイルス感染の危険度	感染対策	※2 生存率
安全 	17g/m ³ 以下	通常の生活環境	温度・湿度を適度に 保つようにしましょう	ほぼ 0%
注意 	11g/m ³ 以下	インフルエンザ ウイルスが生存可能 感染に注意が必要な 環境	温度・湿度の変化に 注意しましょう	5%
警戒 	7g/m ³ 以下	インフルエンザ ウイルスの生存に適 した状態感染しやす い環境	加湿器などで湿度・温度 の調節をしましょう ※過剰に加湿した場合は カビの発生に注意して ください。	20%

※1 絶対湿度

一般的に湿度を表す場合は相対湿度であり、ある温度の空気中に含むことができる最大限の水蒸気量に比べて、実際どの程度の水蒸気量を含んでいるかを%(単位)で表します。絶対湿度とは、温度に関係なく1m³の空気中に含まれる水蒸気の質量のことでg/m³(単位)で表します。例えば相対湿度が同じ50%の場合でも、20℃では絶対湿度約9g/m³、30℃では15g/m³と異なります。本製品のインフルエンザ警告表示は絶対湿度に換算した値で表示しています。

※2 生存率

空気中に放出されたインフルエンザウイルスの各環境下に置ける6時間後の値。

※熱中症警告表示とインフルエンザ警告表示は自動で切り替わります。

お手入れ方法

本体・子機の汚れは、湿らせて固く絞った布で拭き取ってください。

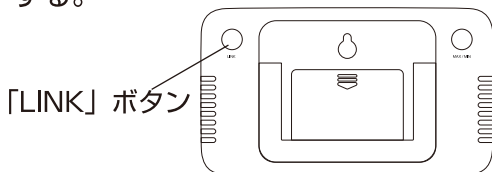
- 汚れがひどい場合は台所用中性洗剤を少量含ませた布で拭き取ってください。
- 熱湯・アルコール・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。
変色・変形・破損のおそれがあります。
- 水洗いは絶対にしないでください。本体・子機は洗えません。
故障の原因になります。

子機と同期ができないときは

- 本体の子機表示部に「-.°C--%」または「Er Er」と表示された場合

本体と子機を再同期してください。

1. 接続中の子機の電池を抜く
2. 本体裏面の「LINK」ボタンを3秒以上長押しする。



3. 「本体と子機を同期する」(9～11 ページ)の手順に従って、本体と子機を同期させる。
本体と子機の再同期が行われます。

※子機を増設している場合は「子機を増設方法」(15 ページ)の手順に従って、本体と子機を同期してください。

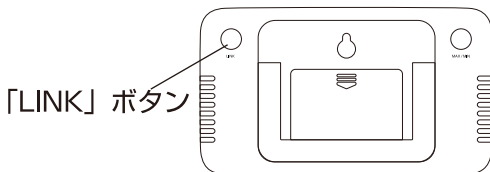
- 電波の送信が開始され、約 10 秒で再同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク「」と子機の測定値が表示されます。

※再同期をしても改善されない場合は、子機の設置場所を変更してください。

子機と同期ができないときは

●本体の子機表示部に「Er Er」と表示された場合
子機の電池が切れて1時間以上経過しています。
「Er Er」と表示されたチャンネルに設定している子機の電池を、2個とも新しい電池に交換してください。


1. 本体の「LINK」ボタンを3秒以上長押しする。



本体表示部のチャンネル表示が点滅します。

2. 5分以内に、子機の電池を2個とも新しい電池に交換する。

本体と子機の再同期が行われます。

●電波の送信が開始され、約10秒で再同期が完了し、本体表示部にアンテナマーク「」と子機の測定値が表示されます。

※子機を増設している場合、電池を交換しない子機は、最大3分程度で再同期が完了します。

※子機の電池を交換しても改善されない場合は、設置場所を変更してください。

故障かな？と思ったら

●電源が入らない

- ・電池がはずれていたり、消耗していませんか？
- ・電池の極性は正しく入っていますか？

●「Lo」「HI」などの表示が出る


- ・温度・湿度が表示範囲外です。

※下記の表をご参照ください。

※温度が -0.1°C 以下、 50.1°C 以上のときは湿度の数値は表示されず「HI」または「Lo」と表示されます。

温度、湿度の条件	表示部
本体：温度が 0.0°C 以下の場合 子機：温度が -20.0°C 以下の場合	Lo ^{°C}
本体：温度が 50.1°C 以上の場合 子機：温度が 60.1°C 以上の場合	HI ^{°C}
本体 / 子機：湿度が9%以下の場合	10% ↑
本体 / 子機：湿度が99%を超えた場合	99% ↑

故障かな？と思ったら

- **本体表示部に何も表示されない**
 - ・ 本体の電池を2個とも新しい電池に交換してください。
- **アンテナマーク「」が表示されない**
 - ・ 子機と本体の距離を 30m 以内にしてください。
 - ・ 子機からの電波を遮っているものを除いてください。
- **「--」℃ 「--」 %が表示される**
 - ・ 本体と子機の電池を入れ直し再同期してください。
- **本体の子機測定値表示部に「Er Er」が表示される**
 - ・ 子機の設置場所が測定可能距離の範囲外です。測定可能距離内で本体と子機を再同期してください。
 - ・ 子機の電池が切れて1時間以上経過しています。
子機の電池を2個とも新しい電池に交換してください。
- **表示された数値がおかしい**
 - ・ 初めてご使用になるときや場所を移動した場合は、数値が安定するまで時間がかかるため、同じ場所に 10 分～ 30 分ほど置いてから確認してください。
(急激な変化の場合は更に時間がかかることがあります)
 - ・ 通気口がふさがれていると正確な測定ができません
 - ・ エアコンの風が直接あたる場所や、加湿器などの近くでは正確な測定ができません。
- **冬場で湿度が低いのに熱中症警告が出ている**
 - ・ 熱中症警告とインフルエンザ警告は、温度と湿度の関係で自動で切り替わります。湿度が低くても、温度が 22 度以上の場合はインフルエンザ警告にはなりません。

アフターサービスについて

修理やお取扱いのご相談は、まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1. 製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。

保証書は、お買い上げの販売店で「お買い上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認の上内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

保証期間：お買い上げ日から1年間

- 保証期間中でも有料となる場合がありますので＜保証規定＞をよくお読みください。
- 当社修理技術者以外の方が分解・修理した場合は、保証対象外となります。

アフターサービスについて

2. 修理を依頼されるとき

- 「故障かな？と思ったら」をご確認いただいても異常のあるときはご使用を中止し、修理をご依頼ください。
- 保証期間中は、製品に保証書を添えてお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。保証書の記載内容にそって修理いたします。なお、製品修理以外の責任はご容赦ください。
- 保証期間が過ぎているときは、お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- お買い上げの販売店または、「株式会社ドリテック お客様相談センター」までお問い合わせください。

4. 別売品（子機）のお買い求め

- お買い上げの販売店までお問い合わせください。

※品番 0-429

お客様相談センター

 0120-875-019

受付時間：月～金 9：00～12：00
13：00～17：00

祝祭日および当社指定休日を除く

URL： <https://www.dretec.co.jp>

お客様サポート



仕様

本体

品番	0-419		
品名	コードレス温湿度計		
表示範囲	温度	0.0～50.0℃	
	湿度	10～99%	
精度 ※1	温度	0.0～40.0℃：±1.0℃ 40.1～50.0℃：±2.0℃	
	湿度	50～80%：±5% 20～49%、81～95%：±10%	
測定間隔	約10秒間	材質	ABS樹脂
寸法	約幅153×奥行25×高さ87(mm)		
質量	約195g(電池を含む)		
電池寿命	約1年 (子機1台、温度23±5℃、湿度50±20%環境の場合)		
使用電池	単3形アルカリ乾電池×2個		

※製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

※1 精度範囲外の湿度は目安です。

仕様

子機

品番	O-429	
品名	コードレス温湿度計（子機）	
防水性能	IPX4 ※1	
電波周波数	315MHz	
表示範囲	温度	-20.0~60.0℃
	湿度	10~99%
精度 ※2	温度	0.0~40.0℃：±1.0℃ -20.0~-0.1℃、40.1~60.0℃：±2.0℃
	湿度	50~80%：±5% 20~49%、81~95%：±10%
測定間隔	約10秒間	
設置距離	約30m（遮蔽物のない、見通しの良い空間距離）	

※1 IPX4とはあらゆる方向からの水の飛沫によっても有害な影響を受けず、製品の機能を保つことです。

※2 精度範囲外の湿度は目安です

仕様

子機

寸 法	約 幅51×奥行24×高さ113(mm)
質 量	約 108g(電池を含む)
電池寿命	約1年 (温度23±5℃、湿度50±20%環境の場合)
使用電池	単3形アルカリ乾電池×2個
材 質	ABS樹脂

※内蔵の無線設備を分解・修理・改造しないでください。電波法に抵触するおそれがあります。

※本製品は日本国内のみで使用してください。
海外で使用すると、その国の電波法に抵触するおそれがあります。

※製品の仕様は改良などのため、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

本保証書記載内容によりこの製品を保証いたします。

本製品の修理は本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げの販売店へご相談ください。

品番	O-419		
保証期間	対象部品	お買い上げ日より	保証条件
	本体・子機	1年間	持込修理
お買い上げ日	年 月 日		
お客様	お名前		
	ご住所 お電話		
販売店*	販売店名		
	ご住所 お電話		

販売店様へ：*欄は必ず記入してお渡しく下さい

〈保証規定〉

- 保証期間内に、正常なご使用状態で故障した場合には本保証書をご持参、ご提示の上、お買い上げ店にご依頼ください。無料で修理、調整いたします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有料修理になります。
 - ※誤ったご使用、不注意、落下、不当な修理、分解、改造、天災、地変等による故障または損傷。
 - ※ご使用上に生じる外観の変化。
 - ※本保証書に販売店、およびお買い上げ年月日の記載がない場合、字句を書き換えられた場合。
 - ※本保証書のご提示がない場合。
 - ※電池は保証対象外です。
- 有料修理の場合、修理品の運賃、修理部品代、技術料はお客様にてご負担願います。
- この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって、保証書を発行している者およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。(This warranty is valid only in Japan.)
- 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
- 安全上のご注意を守らないことにより損害が生じた場合、当社は一切責任を負いません。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。また法令の定めのある場合を除き、事前のご同意をいただくことなく、上記の利用目的以外には使用いたしません。

輸入販売元 株式会社ドリテック 〒343-0824 埼玉県越谷市流通団地2-3-9

お客様相談センター ☎ 0120-875-019 URL : <https://www.dretec.co.jp>

(受付時間:月～金 9:00～12:00, 13:00～17:00 祝祭日および当社指定休日を除く)